



2021年 11月18日発行 会報 第1078号

### 今週のプログラム

(2021年 11月 18日 第1078回例会)

卓話：地区ロータリー財団委員会より

担当：地区ロータリー財団委員会  
委員長 村橋 義晃様

### 次週のプログラム

(2021年 11月 25日 第1079回例会)

『3分間卓話』

テーマ：「コロナの禍のおかげで」

### 第1077回例会 (2021年 11月11日) の記録

#### <会長の時間>

水島 洋会長

皆さん、こんばんは。

アクサさん、ようこそ。

本日は、関西大学国際教育グループ高田冴子様はじめ5名の留学生の方にご参加いただきました。

この留学生の皆さんとの交流会はずいぶん長く続けていたのですが、去年はコロナ禍で中止になり、今年も学生の皆さんの団体での移動が困難ということで中止になりかけましたが藤田会員からZOOMでのスピーチをご提案させていただき、本日の開催の運びとなりました。

日本ではコロナの感染状況もかなり落ちついてきています。冬に向けての第6波の発生も懸念されていますが、どうかコロナがこのまま終息に向かい、留学生の皆さんがコロナ前のように自由に学び、より良い日本での学生生活を過ごされることを心よりお祈りしています。

それでは、本日はどうぞよろしくお祈りします。



<本日のビジター> 関西大学 国際教育グループ 高田 冴子様  
 関西大学 商学研究科 1年生 クツ・キョクブンさん  
 // 経済学部 2年生 ユン・ジョンソンさん  
 // 社会学部 2年生 シン・ドンヒさん  
 // 化学生命工学部 4年生 キョウ・ナンさん  
 2021学年度米山奨学生 アクサ メイリアナ インタニさん

<出席報告> 水本 徹 SAA 補助  
 会員数 (内出席免除会員 1名) 17名  
 本日の出席者数 8名  
 (内出席免除会員 0名)  
 (名誉会員 0名)  
 本日の出席率 50%

<ロータリーソング> 全会員  
 ♪日も風も星も♪  
 <本日の演奏曲目> 近藤 美里さん  
 1. シシリエンヌ  
 2. 昊 ~SOLA~  
 3. シネマ・ノスタルジア

<幹事報告> 山本 友亮 幹事  
 1. 摂津ロータリークラブより、秋の RYLA「オンラインセミナー」開催報告・無事終了のお礼状が届きました。  
 2. クリスマス例会の出欠表を本日例会より回覧致しますので各自ご記入下さい。  
 \*\*\*2021年 クリスマス例会\*\*\*  
 ◆日時：12月23日(木) 18:00 集合 18:30 開始 20:00 終了予定  
 ◆会費：会員 無料 ご家族・ご友人 ¥10,000/1人  
 ◆会場：レストラン「ル・ジャルダン」(アメニティ江坂内)

《本日のお料理》



1. 人参入り卵焼き
2. 酸味と辛味の五目スープ
3. 咸水角 (ハムスイコー：中華風揚げもち餃子)
4. 黒豚焼売
5. 鶏の揚げ物香味ソース
6. 五目やきそば
7. 杏仁豆腐

## <SAA 報告>

山田 克子 SAA 補助

### ※スマイルボックス

水島会員 藤田会員 本日はよろしく。

### ※ロータリー財団

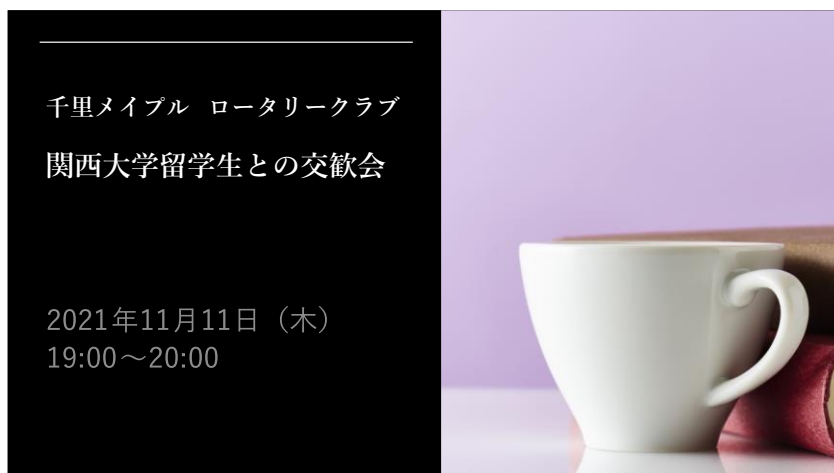
水本会員 祝！！ポッキーの日 トップの方が好きなのですが。  
藤田会員 関西大学 国際部の皆様 本日、宜しくお願いします。  
相原会員 コメントなし

### ※米山記念奨学会

藤田会員 本日は留学生の皆様との交流会 アクサさん楽しんで下さい。  
相原会員・松田会員 コメントなし

### ※メイプル基金

山本(友)会員 関大留学生の皆様 本日はよろしく御願致します。



## 関西大学 国際教育グループ

### 高田 冴子様より

千里メイプルロータリークラブの皆様、本日はこのような素晴らしい会にお招き頂き、ありがとうございます。外国で研究の為にセンター長を退きました山本に代わりまして、本日参加させていただきました高田冴子と申します。私は関西大学の大学院・学部の留学生をサポート致しております。本来であれば、留学生にとりまして例会場に参加させて頂いて皆様と交流させて頂ければ、良い機会になったのですが、学内の行動基準において大勢の会合には集まれませんので ZOOM にて参加させて頂くことになりました。本日参加させて頂いた留学生は欠席の 1 名も含めて全員がこの秋、米山奨学金の選考に応募しておりますので、ご縁がありましたら、来年の春からどちらかのクラブ様でお世話になるかも知れません。実際に採用されました時の事を考えて、ロータリークラブとはどのような活動をしているのか本日は大変興味を持って参加させて頂いたと思います。留学生たちもコロナ前の生活に近づけるように努力していると思われます。本日のスピーチは留学生ならではの視点で興味深く考えさせられます。最後になりましたが千里メイプルロータリークラブの皆様のご健康とご多幸をお祈り致します。ありがとうございました。

### クツ・キョクブン \*中華人民共和国

この夏に初めて日本の出前を注文しました。その際に出前館というアプリを利用して、ラーメンを注文しました。その中で、日本の出前と中国の出前の違いが見つかりました。一つ目に、日本の包装の凄さに驚きました。配達時間は約 20 分でしたが、スープはアツアツ、麺もつるつるでほぐれやすい状態で届けられました。よく調べてみると「出前館」と「エフピコ」は 2019 年 7 月よりデリバリー商品に最適な容器の開発を行うため協業を開始しました。日本では麺も多種存在するため、デリバリーをする際に課題となるのが、汁漏れや料理の温度が冷めるなどの品質維持です。今回はこの課題を解消すべく、スープが漏れにくい・冷めにくいという三層構造で機能性の高いデリバリー特化型容器が完成しました。二つ目に日本の出前はファーストフードが主流であり、近年の新型コロナウイルス感染症により、他の種類のテイクアウトが充実しています。ほとんどの日本料理は、バランスが取れた食事に応じて肉と野菜の栄養の組み合わせに基づいて作られています。新型コロナ感染症が拡大する前に、出前ができることを知りませんでした。これが日本の新しいインターネットサービス開発が遅い原因だと思います。なぜなら、日本はオフラインサービスの満足度が高く、保守的文化であるためです。急速な経済成長を遂げた日本は、基本的にインフラシステムが発達しており、Family Mart・Lawson や 7-11 など日本のほぼすべての店舗は商品の販売に加えて、プリンター、ATM、トイレを備えており、狭いスペースでサービスの多様性と利便性を最大限に高めています。日本は中国と比べると、日常生活の中にも日本のきめ細やかさがあることがわかります。普段当たり前だと思っていたことが、日本での留学により、様々な文化の違いに気づきました。これからも違いを観察し、日本の文化を深く体験しようと考えます。

### 尹 鍾成 (ユン・ジョンソン) \*大韓民国

現在、関西大学体育会水上競技部に所属し、およそ 70 人の仲間たちと日々コミュニケーションをとり、先輩と後輩お互いに尊敬し合いながら、楽しく泳いでいます。今年も新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活も大きく変わりました。部活動も禁止と大学から連絡がありましたが、8 月 29 日に試合があったため、特別許可があり、人数の制限を守りながら、少人数で毎日練習に参加することができました。日本の部活動は夏休みや冬休みの間は、朝早くに練習が行われます。私の所属する水上競技部のメンバーは、授業が無いから、友達と飲みに行ったり遊びに行くことはなく、夏休みにも関わらず毎朝 5 時に起き、6 時 30 分からの練習に参加しました。私にとっては、大きな驚きでした。韓国の学生であればこのような生活は殆どしません。日本の大学生は部活動に参加して自己ベストを出すために朝から力を出し切って泳ぎ、自分の目標を達成するために、情熱を持って真剣に取り組んでいます。小さい頃に水泳を始め、諦めずに今まで続けてきた私にとって、メンバーのこのような姿を見ていると、とても尊敬するようになりました。最初はこのような生活に慣れず、非常に大変でしたが徐々に慣れていき、日本人の仲間と様々なコミュニケーションを取る事ができ、今回の夏休みは非常に楽しく部活動を行う事ができました。8 月 29 日の試合は新型コロナウイルス感染症の影響で出場出来なくなりましたが、幹部の方が関西カップという大会を関西大学で催して下さり、その大会では同期も応援してくれて私は 50m 自由形で 30.2 秒という自己ベストの記録を出すことができ、とても嬉しかったです。私は入部して素敵な先輩や同期に出会い大変幸せだと思っています。今後も自分なりにコツコツ頑張って諦めず、怪我をすることなく、卒業まで充実した日本の留学生生活を過ごしていきたいと思っています。

**申 東熹 (シン・ドンヒ) \*大韓民国**

今回、私は夏休み期間中に参加したホテル業界のインターシップの活動について発表していきたいと思います。私がホテル業界を選んだ理由はホテルと観光産業はコロナ禍で最も被害を受けた業界の一つであり、1年以上続いているコロナ禍の中で現状を知りたかったからです。また、コロナ禍を克服するための工夫や、登場した新たなサービスは何かあるのかなどについても興味がありました。インターシップの参加者には「コロナ禍においてホテル業界で必要とされる新たなサービスとは？」という課題が与えられました。私達のグループはホテルを宿泊施設として利用する「たまたま旅館」ではなく、そのホテルがあるからそこに行く「わざわざ旅館」を企画し、ホテル内で様々な活動を提供することで、お客さんも安心して十分楽しめるサービスを提案しました。私達の企画を企業も満足してくれて嬉しかったです。私が今回インターシップを通じて学んだことは、ホテル業界とコロナ禍について考察する事は勿論、自分達で新たなサービスを実際の企業さんに提案し、評価されるホテル業界の職務内容を間接的に経験できたことです。また、企業に直接アポイントメールを送ったり、ZOOMで会議を行うなど日本の会社文化を理解することもできた貴重な経験でした。一方でグループの意見がまとまらなく、どう調整すればよいか困り苦勞しました。相手の意見を尊重しつつ自分の意見もはっきりすることがとても難しいことだと思い、コミュニケーション能力を高める必要性を実感しました。

これからも様々な業界のインターシップに参加して視野を広げ、私の専門であるメディアを結びつけて考えることで、どのような新しい価値を生み出せるのかも一緒に工夫してみるのも面白いと思います。

**姜 南 (キョウ・ナン) \*中華人民共和国**

コロナ禍で中国出身の私は丁度2年間母国に帰る事が出来ていません。しかし、日本で新しい事を体験しました。コロナ禍以前、私は日本のアイドル文化が好きで、よくコンサートやイベントに参加しました。しかしコロナ禍でイベントの開催が制限されて参加できなくなってしまいました。今年の夏からワクチン接種に伴ってイベント開催の制限が緩くなり、私もワクチン接種後無事に好きなアイドルのコンサートに参加することができました。主催者はクラスターにならないよう、一人一人に体調に関するアンケートを記入させ、電子チケットシステムで接触感染を防ぎ、入場前には検温と手の消毒をし、入場後は一席空けてソーシャルディスタンスの確保、さらにマスクとフェイスシールド着用の上、大声を出す事は禁止で会場の皆は手拍子で気持ちを表していました。コロナ禍で帰国ができなかった私はアイドルから力をもらっています。

特別な時期ならではの新しいイベント形式を体験し、コロナ禍で心身ともに疲れた私達にとってエンターテイメントの力でストレスを発散し、力をもらっています。当然、マスク着用でコロナ対策をしっかりとっている上でコンサートを楽しむことが一番大切だと思っています。

コロナ禍のイベント開催は、改めて日本のエンターテイメント業界の力を感じました。日本人のエンターテイメントに対する真剣さ・情熱を感じました。日本のエンターテイメントは人を楽しませ、クールジャパンの魅力を人々に伝えていきます。

